イメージ

施策 7　高齢者支援

分野別マスターのめざす姿を記載（キャッチコピーを文章に）
→総計と分野別マスターの整合性を明確に。指標との関連性もわかりやすく。

Point

1　施策目標

高齢者が尊厳を保ち、安全・安心に健康で多様な暮らし方ができる支え合いのまちをめざします。

Point

案①　代表指標の設定
案②　展開方向ごとに１つ設定（現行）

2　施策の進捗状況を測る代表指標

①　生きがいを持つ高齢者の割合（市民意識調査）

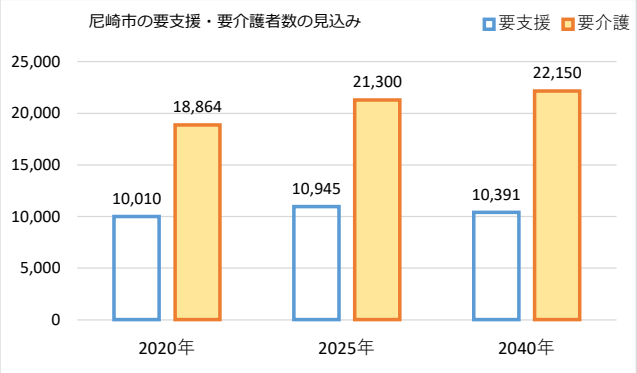
基準値（R3）	●●.●%	▶	目標値（R９）	●●.●%

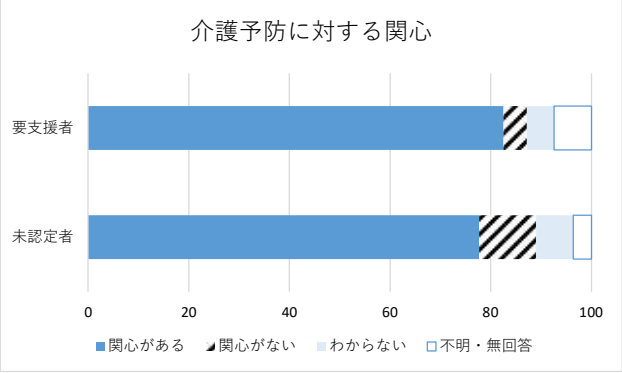
②　調整済み介護認定率の兵庫県との差

基準値（R3）	●●.●%	▶	目標値（R９）	●●.●%

3　現状

・本市は近隣他都市と比較して、単身高齢世帯の比率が高く、今後の在宅生活の支援を中心に介護サービスの需要が高まることが見込まれる。
・介護予防への関心度が高く、「いきいき百歳体操」は住民主体の取組として根付き、参加者数は年々増加している。
・2025 年には団塊の世代が後期高齢者となり、2040 年には高齢者人口がピークを迎えます。





Point

【ポイント】
・現状と課題は、展開方向につき１つをイメージ
・施策評価の積み上げを活かし、「尼崎特有」の現状の課題と、今後 5 年から 10 年を見据えた「尼崎特有」の課題を主に記載

4　主な課題

・高齢者自らが支援者となるなどの地域力の向上が課題
・地域住民の認知症に対する適切な理解の向上
・就労支援も含めた高齢者の居場所づくりが必要

施策間連携をイメージする仕掛け
①SDGｓの視点からの連携（17 のアイコンを掲載し該当するものをカラーで表記）
②現総計のインデックスは継続。（表記方法は要検討）

Point

5　施策の展開方向

キーワードにより、取組をイメージ
→計画の分かりやすさ向上がねらい。
→施策間連携の視点にもつながる

Point

展開方向	キーワード
①　介護予防・フレイル対策	
●住民主体の介護予防活動を支援します。	・健康寿命
●高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施します。	
●介護予防ケアマネジメント力向上を支援します。	
②　認知症対策	
●認知症の理解を深めるための普及・啓発を推進します。	・人権
●地域で支え合うチカラの向上を支援します。	・虐待
●認知症予防を推進します。	
③　社会参加の促進	
●地域で支える高齢者選を推進します。	・居場所づくり
●身近な集いの場を充実させます。	・在宅支援
●総合老人福祉センターでの社会参加づくり	・就労支援
④　基盤づくり	
●権利擁護支援、高齢者虐待の予防を推進します。	・重層的支援
●地域包括支援センター※①の対応力を強化します。	
●介護従事者確保・定着に向けた支援を行います。	

6　主な関連計画

ガイドブックに合わせ、上から３階層を掲載
（マスター、ガイドライン、事業計画まで）

【分野別マスタープラン】

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

- ●●●●計画
- ●●●●計画
- ●●●●計画

（当該施策を進めるうえでのガイドライン）

・●●●●●ガイドライン

【他施策で関係する分野別計画】

●●計画、▲▲計画、■■計画、
××計画・・・・

施策間連携

自治のまちづくりの推進
関連施策
01・02・05
06・07・10
11
行政運営

市民の健康寿命の延伸
関連施策
01・02・03
04・07・10
13
行政運営

地域と支える高齢者支援
関連施策
01・06
07・10

用語解説　※①　地域包括支援センター：地域の高齢者の保健・医療の向上、福祉の増進、権利擁護、虐待防止などを総合的に支援していく機関